



「ラグビーワールドカップ日本大会」が開幕しました。

僕が通っていた田舎の高校は、クラス対抗の球技大会といえばラグビーで、というくらい、ラグビーが盛んな学校でした。

バスケットボールやバレーボールなら5～6人でやる球技なので、どんくさい僕はクラスを代表した試合になんか出られるわけがありません。でもラグビーは15人でするスポーツ。

こんな僕でも試合に出られました。ラグビーが盛んな学校で良かったーい！(^^ゞ

ランパスってなんか楽しいんだよねー



ラグビーはボールを自分より後ろにいる選手にしかパスできないという、ユニークなスポーツです。

単純に後ろにパスをしていけば永遠にゴールから後退していきます^^;;ので、ゴールを目指すなら前に走りながら後ろの選手にパスすることになります。サッカーの戦術でいうところの「下からの押し上げ」は、ラグビーでは当たり前。ボールを持って走る人についていく味方がいなければ、ラグビーにはならないのです。

さて、そのワールドカップが開幕する2週間ほど前のニュースです。

郵便局に勤務していた男性がうつ病を発症し自殺したのは、部下からのハラスメントが原因だったと、遺族が日本郵便に対し慰謝料など計約1億1300万円を求め名古屋地裁に提訴しました。

その裁判の法廷での審理は今後のこととして、注目してほしいのは、**部下から上司への**

ハラスメントを訴えた事案ということです。ハラスメントは別に上司から部下に限ったものではありません。

職場のパワーハラスメントとは、同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内での優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為です。但し「**職場内での優位性**」には、「職務上の地位」に限らず、**人間関係や専門知識、経験などの様々な優位性を含む**とされていますので、今回のような訴えもありうることなのです。



人事労務の仕事を生業とする中で、僕も職場の人間関係に関するトラブルに接することが、ままあります。僕は社労士になって人と人の繋がりを感じるラグビーというスポーツに益々興味を持つようになりました。ラグビーはゴールラインまでボールを運ぶ競技ですが、最後はインゴールで人がボールを地面にグラウンディングしないと**トライ**になりません。つまり、**人が人をゴールまで運んでいくスポーツ**なのです。だからトライを決めた選手は、サッカーにみられるような、観客席に向かってのダンスやパフォーマンスをすることはありません。ボールをつないでくれた仲間や自分の後ろを追ってくれた仲間たちと抱き合います。難しいペナルティゴールを決めた選手も、客席にアピールすることなく仲間たちの元に戻ります。

ラグビーには、「**One for all, All for one**」という言葉があります。

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と解されることが多いのですが、

「一人はみんなのために、**みんなは一つの目的のために**」が本当の意味だそうです。

日本代表のジェイミー・ジョセフ・ヘッドコーチは、日本の指揮官に就任して以降、

「**ワンチーム**」という言葉掲げ、文化も言葉も違う選手の結束を何より重視してきたといいます。



20日に行われたロシア対日本の試合で、3トライを決めて勝利に貢献した松島幸太郎選手は、彼を称賛するインタビューに対し、冷静にこう答えました。

「**トライはみんながつないで取れたもの。ワンチームでできたと思います。**」

皆さまの職場においても、改めて、明確な「目的」を共有し、さらには皆で「思い」を共有するところから、キックオフを試みてはいかがでしょうか。

「**ワンチーム**」を目指して、前へ前へと、進みましょう！^^

トライデー！

トライといっても家庭教師じゃないワン



アヴニール労務事務所

未来は変えられる **avenir**